平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

♠ #	卡 棒规	

◎基本情報															
事務事業名 幼児教育支援センター事業							担当部署		教育	委員	会 学	校教育	— 課 ———		
総	合計画	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •								根拠法令 発達障害者支援法					
基本政策(大項目) 2 ずっと笑顔で生きがい感じるま							計画	など	九之,	午口.	3 X J.W.	4			
		中項目)			生きる力を育 -	争むま	た な	ると		開始	平成		_		20 年度
		小項目)		学校教育					事業	始	1 1974				
		· · 東 #			で 育の充実	1 -	~ 40.호마		期間	終期	未定				•
		事業		子育し又	援センターと	:U ((の役割	允夫		刔					
0	事業概	要(PLA	'N)		. — т.	CIL.									
		(何)を対象 ているか	えに	市内就:	☑ 個人 □ 世帯 □ 団体 □ その他 □ 内部管理 市内就学前の幼児(3歳~6歳)の保護者 □ 日本 □										
				態 が多い。 る、不安	を援を必要とす また、幼児だけ があれば直ぐ!	ナでなく に相談	く保護者! &できるよ	自身に	ニ支援が。 ҍ制づくり	必要な: を目指	場合も す。	あり、	安心して	子育で	ができ
		年度年度していたか		悩んでいたが気軽に が気射見教 対象者: の個別の	近年、支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育でに悩んでいる保護者が増え、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多いことから保護者が気軽に相談できるよう引き続き教育相談を実施する。 〇幼児教育等の専門家による教育相談の実施対象者:3歳~就学前の幼児の保護者実施回数:年6回実施時間:17時30分~19時30分場所:市教委 〇個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成支援が必要な幼児の事例を持ち寄っての研修。個別の教育支援計画・個別の指導計画作成の研修										
Ę	* =				指標	名			26年度	27年	变 284	丰度	29年度	30年度	単位
成果 目標 事業目標の達成度合				[;] 相談利	相談利用者数			24	. 2	24	24	24	24	人	
Ļ															
0	実施結	果(DO)					- 13			- 42					- :-
耳耳	事業 27: 実施 ど	果(DO) 年度は目 るため、手 のような活 いるのか	標を達成 €段として	た 下や子育 込者も多	支援を必要とす 育てに悩んでい らいことから保言	る保護	蒦者が増	え、幼	稚園・私	立幼稚	園∙保	育所			
耳耳	事業 27: 実施 大容 でに	年度は目 るため、手 のよ う な活	標を達成 ∈段として 舌動を行っ	た 下や子育 込者も多	育てに悩んでい らいことから保言	vる保 護者が - - 部委	養者が増 、気軽に相	え、幼目談で	i稚園・私 きるよう	立幼稚 教育相	園・保 談を実 助金	育所等	等から <i>の</i> □ その)教育相 	談の申
耳耳	事業 27: 実施 大容 でに	年度は目 るため、手 のような活 いるのか	標を達成 手段として 舌動を行っ 法	下や子育込者も多	育てに悩んでい らいことから保言	vる保 護者が - - 部委	隻者が増 「気軽に相	え、幼目談で	i稚園・私 きるよう	立幼稚 教育相	園・保 談を実 助金	育所等	等から <i>の</i> □ その)教育相 	談の申
	事業 実施 内容 事業 動指標	年度は目るため、手のような活いるのか	標を達成 手段として 活動を行っ ・法	下や子育込者も多	育てに悩んでい らいことから保言	vる保 護者が - - 部委	養者が増 、気軽に相	え、幼目談で	i稚園・私 きるよう	立幼稚教育相	園・保 談を実 助金	育所等	等から <i>の</i> □ その)教育相 	談の申
事事	事業 27: 実施 どででで ママママママママママママママママママママママママママママママママママ	年度は目るため、手のような活いるのか	標を達成 手段として 活動を行っ ・法	下や子育 込者も多	育てに悩んでい らいことから保言	vる保 護者が - - 部委	養者が増 、気軽に相	え、幼 目談で 委 <mark>議 27</mark>	1稚園・私 きるよう。 も 七 7年度実績	立幼稚教育相	園・保談を実 前助金 ・ ・ は間標は	育所等	等からの)教育相 他 <mark>年度目標</mark>	談の申
	事 準施容 事 指事を 指 果に 果 に 果 に 果 に 果 に 果 に 果 に 果 に 果 に 果	年度は目るため、手 のようなだいるのか 実施手	標を達成 長動を行った 法 指 指 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	下や子香・込者も多のでは、一下では、一下では、一下では、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で	育てに悩んでい らいことから保言	vる保 護者が - - 部委	養者が増 気軽に材 託 26年度実	え、幼 目談で 委 <mark>議 27</mark>	7年度実績 6 24	立幼稚教育相	園・保談を実 前助金 ・ ・ は間標は	育所等	等からの)教育相 他 <mark>年度目標</mark>	談の申
	事性を表現して、	年度は目 るたらなかいるのか 実施手 1 教育 2	標を達成	下や子香・込者も多のでは、一下では、一下では、一下では、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で	育てに悩んでい らいことから保言 を施	一部委	養者が増 気軽に材 託 26年度実	え、幼で 素績 27 6	a稚園・私きるよう。 100.0	立幼稚教育相	調・保実動・保護を実施を実施を実施を表現します。 ほうしん はいい はいい はい は	育所等	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	他年度目標	談の申 単位 う 回 人 %
	事 準施容 事 動た動標 果にどれ 東 大名 東 大名 東 大名 東 大名 東 大名 東 大名 東 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名 大名	年度は目 るたらなかいるのか 実施手 1 教育 2	標を達成	下や子香・込者も多のでは、一下では、一下では、一下では、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下をは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で	育てに悩んでい らいことから保言	一部委	養者が増 気軽に材 託 26年度実	え、幼で 素績 27 6	7年度実績 6 24	立幼稚教育相	調・保実動・保護を実施を実施を実施を表現します。 ほうしん はいい はいい はい は	育所等	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ)教育相 他 <mark>年度目標</mark>	談の申 単位 う 回 人 %
	事性を表現して、	年度は目 るため、 またうなか 実施手 1 教育 2 相談利	標を達成 接触を行う 法 指相談 指相談 指相談 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	下心子音。 下心子音 表 標名 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图	育てに悩んでい らいことから保言 産権	一部委	養者が増 (気軽に木 記 26年度実	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	7年度実績 6 100.0 全体の	立幼稚教育相	は 保証 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	育所: : 29年度	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ に に に に に に に に に に に に に	他 年度目標 6	談の申 単位 う 回 人 % リ (千円)
	事性を表現して、	年度は目 るため、 またうなか 実施手 1 教育 2 相談利	標を達成	下込った。 下した。 下した。 下した。 下した。 下した。 下した。 下した。 下し	育てに悩んでい らいことから保証 を施	一部委	養者が増 (気軽に木 記 (26年度実	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	和園・私きるよう。 在 2年度実績 6 24 100.0 全体の	立幼稚教育相	:園・保実 部か金 を目標 6 - 大況	育施 29年度	等からの でである。 では、 では、 では、 では、 できます。 これまます。 これまます。 これままます。 これままます。 これままます。 これまままます。 これまままます。 これまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	他年度目標を	談の申 単位 う 回 人 % り (千円) 業費計
	事性を表現して、	年度は目 るため、 またうなか 実施手 1 教育 2 相談利	標を達成 接触を行う 法 指相談 指相談 指相談 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	下込 マード	育てに悩んでい らいことから保言 を 施	一部委	養者が増 (気軽に木 託 (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を)	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	和園・私 きるよう 100.0 全体の 2方債 0	立幼稚教育相	・保実・財産をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象	育施 29年度	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	他 年度目標 6 - 一 20 東 20	談の申 単位 う 回 人 % (千円) 業費計 120
写 写 り 活 実のす 成 対うあ指 の 対	事 大	年度は目 るため、 またうなか 実 を 1 数 利 2 相談利	標を達成 接触を行う 法 指相談 指相談 指相談 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	下込 下込 下込 下込 下込 下込 下込 下込 下込 下 下込 下 下 下 下	育てに悩んでい らいことから保言 産権/目標) 計画どおり 国 0 0	一部委	養者が増 (気軽に木 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	和園・私きるよう。 在 24 100.0 全体の 25 0 0	立幼稚教育相	:園・保実 動を関を 動を 動を も も も も も も も も も も も も も	育施 29年 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	等からの こ こ こ こ こ こ こ 一般財 12 12	他 年度目標 で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	談の申 単位 う 回 人 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
写 写 り 活 実のす 成 対うあ指 の 対	事性を表現して、	年度は目 年度は またうのいる またうのい。 実施手 1 数利 2 相談利	標を達成 接触を行う 法 指相談 指相談 指相談 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	では、	育てに悩んでい らいことから保言 を施	一部委	養者が増 (気軽に木 記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	和園・私 きるよう 100.0 全体の 2方債 0	立幼稚教育相	・保実・財産をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象	育施 29年 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に に に に に に に に に に に に に	他 年度目標 で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	談の申 単位 う 回 人 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
写 写 り 活 実のす 成 対うあ指 の 対	事 大	年度は目 年度は またうのいる またうのい。 実施手 1 数利 2 相談利	標を達成できません。	では、	育てに悩んでい らいことから保言 産権/目標) 計画どおり 国 0 0	一部委	養者が増 (気軽に木 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記	え、幼で (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	和園・私きるよう。 在 24 100.0 全体の 25 0 0	立幼稚教 日本 28年度 その他	:園・保実 ・保実 ・保実 ・	育施。	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	他 年度目標 6 - 本 20 20 20 0	談の申 単位 う 回 人 外 (千円) 業費計 120 120 120 0
写 ラ プログラ 大き 一 大きのす 一 成対 うあ指 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	事 大	年度は目 年度は またうのいる またうのい。 実施手 1 数利 2 相談利	標を達成できません。	では、	育てに悩んでい らいことから保言 を施	る保証を	養者が増 (気軽に木 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記 (記	え、幼で 素 素 を ま ま 大 大 で の で の の の の の の の の の の の の の	和園・私 を を を を を を を を を を を を を	立幼稚教 日本 28年度 その他	:園・保実 ・保実 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	育施。	等からの こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	他 年度目標 を 画 型 ジ お 取 取 20	談の申 単位 う 回 人 外 (千円) 業費計 120 120 120 0

【事務事業名:幼児教育支援センター事業】 ____(千円)

						\
事業費推移	年 度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	120	120	120	120	120
	うち一般財源	120	120	120	120	120
	人件費	688	686	686	686	686
	総事業費	808	806	806	806	806

●項目別診研(CUECK)

<u>◎項目別評価(CHECK)</u>							
評価項目		評価	値	所見欄			
①活動に対	有効性	A:有効性が	があった	保護者が気軽に相談できる体制を整えたうえで、専門家による教育相談を実施した。			
する評価	効率性	A:効率的だった		継続的に実施することで、保護者等へ周知され、全 ての希望者に対し、相談を実施することができた。			
	指標名	相談利用	用者数				
②成果に対	目標	24	人	↑不安を持つ保護者や、幼稚園・私立幼稚園・保育所 ・等からの教育相談の申込者も多く、計画した利用者			
する評価	実績	24 人		寺からの教育相談の中込有も多く、計画した利用 数を達成したため。			
	評価	A:目標を達	成できた	xce,xorenew.			
③総合的な評価		A	\ \	専門家による教育相談を実施することで、保護者の不安を和らげたり、子どもの現状を把握することができ、有効的であった。			

 ◎今後の方向性(ACTION)										
課題	子どもの現状を把握できていない保護者もいることから、専門家による教育相談をそのきっかけづくりの一つとして継続して実施するとともに、相談員とも調整し、保護者の利用しやすい時間帯や曜日において実施する。 また、関係課においても連携しながら、保護者にとって安心して子育てができる環境づくりを推進していく。									
今後の方	の方向性 1.廃止 2.要改善 3.現状維持 4.拡充									
↓今後の	方向性	±を踏ま	えた上で、以	下の欄に記入してくだ	どさい。					
実施内容	平成	28年度	+ 1 1	とする幼児や気がか から、引き続き教育相		にあり、子育てに悩ん	でいる保護			
夫 爬内容	平成:	29年度	継続実施。							